

事業名	Trigger Voice 創造と現代～岡山ゆかりの音楽・劇場・美術のオピニオンを迎えて～
特色	岡山シンフォニーホールの元プロデューサーであり現在東京交響楽団の芸術主幹・国塩哲紀、2023年9月に開館する岡山芸術創造劇場ハレノワの劇場長・草加叔也、直島地中美術館・金沢21世紀美術館・東京芸大美術館などを歴任し現在練馬区立美術館の館長・秋元雄史の3氏を迎えて、同時代を生きる文化芸術の価値について、困難な現代社会における表現活動について、公益や共生を育むための芸術創造について語っていただく。
陣容	国塩哲紀×音楽 草加叔也×劇場 秋元雄史×美術
日時	2022年12月 1日(木)18:30～ 国塩哲紀 3日(土)18:30～ 草加叔也 4日(日)14:00～ 秋元雄史
会場	アジュドール 2F (TOMIYA 表町 11 岡山市北区表町 2-1-45) ※JR 岡山駅より路面電車・東山線「県庁通り」電停で下車し、西へ徒歩約 5 分
料金	参加費 1,000 円(各日)
参加申込	アートファーム HP「お問合せ」メール、FAX、電話
問合せ	NPO 法人アートファーム TEL=086-233-5175 FAX=086-294-3764 E-mail=info@artfarm.or.jp



撮影 Klaus Mäkelä

国塩哲紀

1962年岡山市生まれ。中央大学文学部文学科ドイツ文学専攻卒業。岡山シンフォニーホールプロデューサー(1990～1996)、東京オペラシティ文化財団プロデューサー・同チーフプロデューサー(1996～2013)を経て、2013年4月より東京都交響楽団芸術主幹。また2011年からは広島ウインドオーケストラのプログラミングアドバイザーも務めており、吹奏楽関連の執筆や、演奏会・ラジオ番組の司会も行う。共著に『クラシック・コンサート制作の基礎知識』(ヤマミュージックメディア刊)等。

草加叔也

1957年岡山県倉敷市生まれ。劇場・音楽堂等を中心に施設計画、運営計画、改修計画などの策定に携わる。「神奈川芸術劇場」「兵庫県立芸術文化センター」「日生劇場(改修)」などに関わる傍ら、ピーター・ブルック、ピナ・バウシュなどの日本公演で技術監督としても活動。1989年芸術家在外研修員(文化庁)として渡英。有限会社空間創造研究所設立。岡山芸術創造劇場劇場長、千葉県文化振興財団理事、全国公立文化施設協会アドバイザー、東京芸術文化評議会・専門委員会委員、東京文化会館運営委員などを務める。

秋元雄史

練馬区立美術館館長、東京藝術大学名誉教授、金沢21世紀美術館特任館長、国立台南大学名誉教授。1955年生。東京藝術大学美術学部卒業。1991年からベネッセアートサイト直島のアートプロジェクトに携わる。2004年より地中美術館館長、ベネッセアートサイト直島・アーティストティックディレクターを兼務。2007年4月～2016年3月金沢21世紀美術館館長。2015年4月～2021年3月東京藝術大学美術学部長・教授。2017年4月～練馬区立美術館館長。著書には『武器になる知的教養 西洋美術鑑賞』、大和書店、『アート思考』プレジデント社、『直島誕生』ディスカバリー21など

